

JIS

UDC 681.3 : 691.39

X 5775

開放型システム間相互接続—システム管理— 事象報告管理機能

JIS X 5775⁻¹⁹⁹⁴
(1999 確認)
(2004 確認)

平成 6 年 7 月 1 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 6 . 7 . 1

官 報 公 示：平成 6 . 7 . 12

原案作成協力者：財団法人 日本規格協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 情報部会（部会長 棟上 昭男）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部情報規格課（☎ 100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3 ー 1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

開放型システム間相互接続 —システム管理—事象報告管理機能

X 5775-1994

Information technology—Open Systems Interconnection—
Systems Management : Event report management function

日本工業規格としてのまえがき

この規格は、1993年に発行されたISO/IEC 10164-5 (Information technology—Open Systems Interconnection—Systems Management : Event Report Management Function) を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、5.以降の規格内容は、原国際規格の内容を要約したものである。

1. 適用範囲 この規格は、JIS X 5006で規定するシステム管理を目的とした相互動作を行うために、集中的又は非集中的な管理環境の中の応用プロセスが使用する一つのシステム管理機能を規定する。この規格は、事象報告管理機能を規定するものであり、サービス及び二つの機能単位からなる。この規格は、JIS X 5003で規定する応用層に位置し、ISO/IEC 9594で提供されるモデルに従って定義する。システム管理機能の役割は、JIS X 5763で規定する。

この規格は、次の事項を規定する。

- (1) 事象報告管理機能のための利用者要件
- (2) 利用者要件に対して事象報告管理機能が提供するサービスに関するモデル
- (3) 事象報告管理機能が提供するサービス
- (4) サービスを提供するために必要なプロトコル
- (5) これらのサービスと管理情報の構造(SMI)の操作と通知との関係
- (6) 他のシステム管理機能との関係
- (7) 適合性要件

この規格は、次の事項を規定しない。

- (1) 事象報告管理機能を提供する実装情報
- (2) 事象報告管理機能利用者による管理実現の方法
- (3) 事象報告管理機能の使用によって起こる相互動作の情報
- (4) 管理アソシエーションの確立、正常解放及び異常解放に必要なサービス
- (5) 事象報告管理機能の使用又は関連動作に対する許可要件
- (6) 特定のプロトコル機械の管理に関連する管理オブジェクトの定義

2. 引用規格 この規格で引用する規格を、次に示す。これらの規格が本文中で引用された場合は、この規格の一部とみなす。

ISO/IEC 10040 : 1992 Information technology—Open Systems Interconnection—Systems Management Overview

備考 JIS X 5763 (開放型システム間相互接続—システム管理概要)-1994が、この国際規格と一致している。

ISO/IEC 10165-2 : 1992 Information technology—Open Systems Interconnection—Structure of management